

企業訪問 循環型最前線レポート

加山興業（株）

植樹実績権利化に参加 課題は付加価値のPR

加山興業（株）



加山興業株式会社

■代表者／加山 昌弘 ■所在地／豊川市南千両2-1
TEL0533-89-0375 FAX0533-84-3739 URL:http://www.kayama-k.co.jp ■事業内容／産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業、一般廃棄物収集運搬業・処分業、解体業

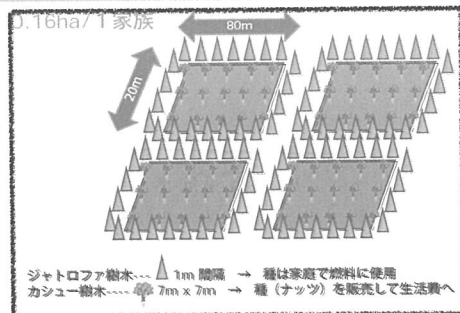
●温暖化ガス削減だけでなく、貧困世帯の生活向上を支援

植樹実績の権利化事業は、カーボンオフセット、排出権取引に次ぐ新たな環境貢献、社会貢献を両立した手法として考案されたもので、インドネシア西ティモールの未利用地を開墾し、耕作地にカシューナッツとジャトロファの木を植樹しようというものです。

国連世界食糧計画（WFP）の途上国支援事業にも位置づけられています。

具体的には、1世帯あたり2、3年程度で実の収穫が可能になるカシューナッツを30本、燃料として利用できるジャトロファ200本を植樹する。

植林地の詳細



土地の形状は家族毎に変化いたしますが面積は0.16haになります。



カシューナッツは換金性の高い果実なので、長期的に収穫し販売することで貧困地域が経済的に自立することを目指します。また、ジャトロファの実の種は脂分が多く燃料として使うことができる。各世帯にジャトロファの種を燃料に使える調理器具兼ス

トープも配付されます。それにより、化石燃料や無計画な森林伐採を食い止め、地球温暖化防止にも貢献することを目指しています。

加山興業では、適切な廃棄物処理をすることで社会的責任を担う一方、さらなる社会・環境の価値づけを求めて新たな手法を模索しているときにこの方法に出会いました。

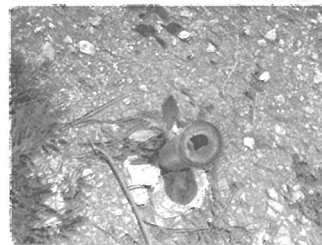
●排出事業者の方にも一緒に付加価値の未来を感じていただきたい

「廃棄物を処理するには、CO₂の排出は不可避です。しかし、その排出したCO₂を植樹実績の権利で相殺することで、環境だけでなく、西ティモールの人々の経済的自立をサポートできるということを、皆さんにも知ってもらい、加山興業に仕事を依頼することの付加価値と感じていただけるようにPRしていきたい」と加山順一郎取締役は話しています。



仕事の夢を熱く語る加山順一郎氏

実際に植樹にはホストファミリーがあり、ファミリーの写真入りで植樹実績の証明書が送られてきます。(右下の写真)今はまだ小さな木ですが、どんどんと木が育っていくことで削減できる温暖化ガスも



増え、ホストファミリーの収入にもつながっていきます。

加山取締役は「まだ、西ティモールに行ったことはありませんが、何年後かには行ってみたいと思います。その頃には木も成長していることでしょう。木がどんどん育ち、環境貢献はもちろん、目に見えるサポートができるということは、私たちの楽しみでもあり、励みにもなります」と話す。

この試みは、国内外で総合的な環境技術の可能性を追求している加山興業の姿勢を具現化しているといつてよいでしょう。



ホストファミリーの植樹実績の証明書